



◆環境について

岩岡：宗像市の環境面で、身近に感じる
ことがあれば聞かせて下さい。

目原：東郷駅から高校までの道のりが、
良く言えば自然があって、悪く言えば
発展してない感じで。大雨でも宗像高
校は休校にしないのが良いところだと
思うんですけど、雨が降ると傘をさし
ても道路の水はけが悪くて足元が濡れ
たりして、そういうところでは不便さ
があるのかなと思います。

峰：僕は小さいころからずっと福岡市
に住んでいて、高校に入って初めて宗
像に来て、最初はちょっと物足りない
なというか、もっと都会にあるような
楽しめるものがあったら良いのかなと
思います。



高校生×議員

次世代を担う若者に、少しでも議会の存在を身近に感じてほしいという思いから、宗像市議会では、令和元年6月26日、議場で宗像高等学校2年生の中村美斗（みと）さん、大田那菜（なな）さん、中原拓哉（たくや）さん、峰諒佑（りょうすけ）さん、目原凪斗（なぎと）さんと広報編集部会の北崎正則議員、笠井香奈枝議員、岩岡良議員で意見交換を行いました。
議場見学や模擬採決も体験してもらい、和やかな雰囲気でした。

◆議会・議員の印象

岩岡：僕たち市議会議員に対してどう
いう印象を持っていますか。

中村：よく分かりないというか、あんま
り知らなくて、印象というのはあんま
りないです。

大田：宗像市の良いところをアピールし
てくださる方だと思います。

中原：最近、汚職問題とかいろいろ問題
になっているので、そういう悪いイメ
ジが少しあります。

峰：僕も中原くんと一緒に、良いことで
取り上げられることもあるけど、悪い

中原：僕はずっと宗像市に住んで、宗
像市の良いところは自然がたくさんあ
るところだと思っんですけど、最近、
太陽光パネル設置が進んでから、宗像
の良いところが失われているような気
がしています。

大田：私も宗像にずっと住んでいます。東
郷小学校の辺りは夜になっても電気が
ついてるので安心して通れるんですけ
ど、大通りから外れると街灯が少なく
て暗くて怖いので、街灯をもっと増や
してほしいと思います。

中村：私も生まれてからずっと宗像に住
んでいます。私は中学校に自転車を通
学してましたが、帰り道はやっぱり暗
くて怖いと思います。それと、宗像高
校に来る時に、道がガタガタで、自転
車と車がぶつかりそうで危ないと思っ
ているので、そこをどうにか
してほしいなと思います。

岩岡：身近な通学路の話から、宗像市全
体のあり方の話までありましたが、議
員のみなさんはどう思われますか。

北崎：街灯は防犯の面でもとても大事だ
と思います。さっき大田さんが言われ
てたように、女の子にはちょっと危険
だなと思うこともあります。市でも地



部分だけを取り上げられることもある
から、そういう印象があります。
目原：授業で政治について学んだりして
知識はあるけど、どんな感じで仕事を
しているのか細かくは知らないし、さっ
き2人が言ったとおり、いろんなこと
をしようと思っんですけど、悪いイ
メージが付いたのですね、悪いです。
岩岡：良い印象、悪い印象、どちらもあ
りまいたね。今日は、議員ってもの少
し接しやすいもの、身近なものなんだ
と思ってもらえたらと思います。

元の要望を聞きながらまちづくりを取
り組んでいます。一度に全部解決でき
たらいいけど、予算もあるからね。で
も、言ってもらったことは大事なな。
笠井：宗像は農業をされている方が多いの
で、周りに田んぼがありますよね。植
物が育つためには昼夜を区別してあげ
ないと生育が悪くなるので、田んぼが
あるところには街灯が少ないという現
状があります。夜になったらそういう
道は避けて通るといって、自分の身を守
る方法も考えるといいなと思います。
岩岡：僕も約20年前に宗像高校を卒業





したんですが、その時から旧3号線を自転車で通ると道がガタガタしてました。ただ、道路には市道と県道があるので、市だけの力ではできないこともあります。だからと言って、県道だから市は何もしなくて良いというわけではなく、利用する市民の声を県に届けていく努力が必要だと感じています。

◆大規模太陽光パネル

岩岡：次に、大規模な太陽光パネルが設置されて自然がなくなるといった意見がありました。どう思われますか。
北崎：私は玄海に住んでいます。宗像大社から中央中学校の方に向かっていくと、はげ山がほとんど広がってますよね。

た。話題のタピオカとかがあったら嬉しいですね。

大田：私は宗像市に大きな商業施設をつくってほしいと思います。友人と遊ぶときに宗像市で遊ぶことがあまりなく、福津市のイオンとか、博多とか大きな都市に出ることが多いです。

中原：今、小学生とか中学生が家に閉じこもっています。親は外で遊ぶというけれど、近隣の迷惑になるから公園は野球とかサッカーがほとんど禁止になっていて、外で遊ぶにも遊べない状況です。僕も実際そうでした。子どもたちがちゃんと安全に遊べる場所をつくってほしいと思います。レジャー系をしようと思うと福津市のなますの郷まで行かないといけないんです。

峰：宗像にはみんなが知ってるパッとしたものがなく知名度が低いと思いま



中原：大井台のタムのところとかもですね。あそこを削るなら、空き家とかのところにつくってほしいです。

北崎：ただ、法律の上で問題がなければ許可を出すというの、またルールなんです。あれは議会でも議論になりました。土地の所有者からすると、土地を買ってもらえるということなので、その辺が難しいところだなと思ってます。君たちも胸が痛むと思うけど、僕たちももっと目を光らせないといけないと思っています。

笠井：大きな開発になると、県が許可を出すことになってます。そこにどう私たちが意見を言っていけるかなというのは、私も勉強不足だなと感じています。市だけじゃなくて県議会議員との連携も必要だなと、すごく考えさせられました。さらに、大雨が降った時の影響も考えていかないとけないので、県が許可したから良いのかというのは悩むところです。

岩岡：最初、中原さんは発展してないと言われたと思うんですが、これと開発の話はセットで考えた方が良く思うんです。開発を民間に任せていこうという流れの中で、民間が太陽光パネル

す。福津市はイオンがあるからみんなが知っています。同程度のものがあれば、宗像市も知ってもらえると思います。

岩岡：僕は福工大前から宗像高校に通ってました。当時は、福津市のイオンがあるところは「再開発反対」の看板がありました。大人になって戻ってきたらイオンができて、福津市は賑わっているなど。あの反対運動を乗り越えてつくったんだなと思いました。

目原：福津市のイオンのようなものをつくってほしいけど、そうするとさっきみたいに自然が壊されるという話が出てくると思います。それなら、中原くんが言ったみたいな自然の森を良い形で加工してアミューズメントパークみたいにするば自然の中で遊べて、どちらの意見も反映されているんじゃないかなと。あと最近、動画で有名人が遊びに行くと有名になったりするから影響力もあるかなと。自然と融合した遊び場を、と思います。

北崎：宗像市にもふれあいの森とかグローバルアリーナとかいろいろあるけど、高校生からすると遠いかもしいないね。みんなが遊べるスペースとしてははるのえいと北にフットサルとかがで

をつくったんですね。発展したといえれば発展したけれども、宗像の自然を壊したことに非難。非常に難しい状況です。それを規制することもできない中で、シレンマに陥っているのが宗像市の現状かなと思っています。こういうことが頻発しないよう、監視できる体制が必要だと思っています。

◆若者の遊ぶ場所

岩岡：次に、若者の居場所や遊ぶ場所がないという意見がありました。具体的に教えてください。

中村：私は習い事で博多に行っているんですが、夜に赤間駅に帰ってきたときに開いてる飲食店が少ないと思います



きる、自由に遊べるところがある。ああいうのが良いかなと思う。

笠井：宗像市も子どもの居場所づくりは進めていて、小さい子だとプリーパークといってメイトムで月に2回くらい自然の中で泥だらけになって遊ぶ場所がある。そこが、宗像ベースといって中高生の居場所づくりで月1回、場所を開放して料理したり卓球したりする場も提供しています。地域によっては場所を開放して自由に遊べるようにしているところもあるけれど学校帰りには時間的にも行きにくいんですよね。

岩岡：居場所づくりの話は、高校生が求めていることと市が進めている事業の趣旨が違うんじゃないかと感じました。それをお互いに近づけていけたらとは

思いますが、簡単じゃないなど。それで、みなさんに聞きたいんですが、宗像にイオンができるると市内の商業施設に影響が出るかもしれないという心配がでてきますが、どう思いますか。

目原：他店に影響が出ると思うと残念だと思っけど、何も知らずにイオンがきたらやっただーと思うと思います。高校生メインで考えたら、よかったですと思うと思います。

峰：何も聞かずにつくったら周りの人のことを考えずにつくったのかなと思うし、新しい案が必要だと思えます。

中原：つくるとなるとイオンにテナント店として入れてあげたりすることができるとかと思えます。宗像市には少ない、タピオカとかチーズホットドッグの店とか入れてプラスを入れていけばと思う。

大田：私は福津市とかで遊ぶことが多いですが、宗像で遊びたいという気持ちがあるから、もしイオンができたら他店に影響はでてしまってもいいないけど、やっぱり大きな商業施設をつくってほしいと思います。

中村：私たち中高生はできて良かったと思うけど、高齢者の方が

徒歩や自転車で買い物をしているところに影響がでてしまうと大変だから、そついつことを考えたらダメかなと思います。

岩岡：100%の政策はないと思うんですが、高齢者や商店街の人たちのことを考えたらできない。でもやっぱり商業施設は欲しい。その声をどういうふうにあげていくかが重要だと思うんです。その一つのツールが選挙なのかなと。大人になっても宗像のことを考えて、選挙に行ってもええたらと思えます。



◆グローバル人材育成

岩岡：事前アンケートの中で、議員に聞いてみたいことがいくつか書かれていますので、できる限りで答えたいと思います。まず、グローバル人材育成について宗像市にはどのような支援・制度がありますかということですが、議員のみなさん、どうですか。

北崎：まず高校生はトヨタと宗像市で連携したカナダ留学、それと今年初めて宗像市内の小学校5校4年生の子どもたちを対象に、グローバルアリーナでイングリッシュキャンプをやってました。

私たち3人で一緒に参観したんですが、アメリカの教育大学の学生と子どもたちが一緒に英語で楽しんでいました。宗像市は、英語教育や外国語活動には非常に力を入れています。外国人に対する違和感がなくなる、そういうのがグローバル人材育成かなと、宗像が自慢できることの一つかなと思います。

岩岡：宗像市はグローバル都市を目指しているんで、そついつた人材を多く輩出できるようにしていきたいなと思えますね。

◆高齢者ドライバーの免許返納

岩岡：高齢者ドライバーの免許返納について、宗像市はどんな対策をしているのかというのを中原さんがアンケートに書いてくれてましたね。

北崎：中原さんのところはおいじちゃんかおばあちゃんが運転されてるんですか。

中原：おばあちゃんがいいますが、運転はしてません。免許は返納しました。

北崎：(コミュニティバスの写真を見せながら) これを見たらわかるように、コミュニティバスはサンリブやゆめタウンを通ります。玄海から赤間駅にタクシードで行くと3千円くらいかかるところが200円で行ける。市の施策の一つですね。他には、宗像市ではやってないけど、デマンドタクシーという方法もあります。過疎地の交通手段の確保は今後の課題だと思ってます。

笠井：現在の取り組みとして、70歳以上の方が免許返納した時に、コミュニティバスの回数券2万円分などがもらえるサービスがあります。でも、バスの本数が少ない、免許を返納すると生

活ができなくなるっていう意見も多いです。私たちも、もっと便利に使える方法を研究していきたいと思えます。

岩岡：今、笠井議員が説明しましたが、最大で2万円分なんです。たぶん中原さんの質問は、それを使い終わったら後どうするのかという話だと思うんですよ。その補助拡大が必要だと思うんですけど、市の財政にも限界がある中で、今はこれが限界だけど、足りないのも現実です。でも、車を持ってるとガソリン代や税金などの維持費が必ずかかります。免許を返納したとしても、これまで支払っていた車の維持費くらいは自分で負担してほしいと僕は思うわけです。でも、こついつた話題が高校生からであるとは思っていませんでした。非常に良いテーマだなと思えます。

◆成人式

岩岡：中村さんから、成人年齢が18歳になったことで成人式はどうなるのか、という意見をいただいています。

中村：何学年かを合同すると、ユリックスに入りきれぬのかなと。日程をずらしたりするのかな、という素朴な疑問です。

岩岡：合同だと、一度だけ、18歳から20歳が一緒になるってことですよね。当事者であるみなさんに聞いてみたいと思うんですが、合同でやりたいのか、自分たちの学年だけでやりたいのか、どう思いますか。宗像市ではまだ決まってないんですよ。

中村：私は自分たちの学年だけでして、帰りに小学校とか中学校に寄って先生と一緒に盛り上がりつつある先輩方を見てきたので、それができるようにしたいです。合同だと、できないのか。

笠井：成人式は18歳が良いとか、それとも20歳が良いとかがあります。

中村：18歳するのはちょっと早いのかなと自分は思います。



大田：私も同じく年齢は20歳でいたいと思います。同じ年齢だとお世話になった先生とかも同じなので。

中原：僕も同じで成人式は20歳が良いと思います。今年だけ合同でやると18歳、19歳は20歳に気を遣うんじゃないかと思います。たぶん人生で一番はじけられる最後の日なんです。やるなら日にちを分けて18歳は2週間後、19歳は1週間後、20歳はいつも通り成人の日に行うとか。

峰：僕も20歳が良いと思います。3人と一緒に、20歳というのは高校卒業して2年経過して、久しぶりに友達と会うのが楽しいし、20歳になってタバコとかお酒を飲んだりする人が出てくると思うけど、それが楽しいって聞きます。また、合同でするとなると、着物とか衣装が絶対足りなくなるし、今ない問題が出てくると思います。

目原：僕は他の4人と違うんですけど、20歳、19歳、18歳なら知ってる先輩や後輩がいると思うから、同学年に限らず、先輩後輩含めて、久しぶりだねみたいな流れになると思うので、そういう点が良いと思います。ただ、さっき峰くんが言った衣装の問題とかも考え

ると難しいことなのかなと思いました。**岩岡**：議員のみなさんはどうですか。**笠井**：親として18歳で成人式となると、受験や大学入学などでお金も要るのに、さらに衣装代もとなると頭が痛いだろうなと思います。

北崎：大事なのは終わった後の同窓会だよね。それならやっぱり20歳かなと。僕も議員になって成人式に行くのが一番楽しみ。地元の玄海で小学校の教師をしてたから、関わってた子たちを見るのがすごく楽しみだね。

岩岡：全員一緒の意見ではありませんでしたが、これから市がどうしていくか、参考になるんじゃないかと思います。

◆本日の感想

岩岡：今日はいろんな意見ありがとうございしました。最後に今日の感想をいただけたらと思います。

中村：ここに来るまでの間、心臓がドキドキしていましたが、すぐ緊張がとれて楽しく過ごせました。

大田：私はいままで議員さんたちが何をしているかよくわかっていなかったんですけど、今日、議員さんが何を考え

ているのか知ることができて、良い機会になりました。

中原：僕も宗像市議会について全く知らなかったんですけど、この意見交換を通して、今、宗像市が抱えている問題やこれからの政策とか議員さんの意見が聞けて、普通に過ごしていたらこんな機会は得られないので、参加してよかったなと思いました。

峰：議員さんたちの生の声を聞くことはなかなかないし、市について考えることもあまりないので、こうやって話して、選挙で選ばれた議員のみなさんが話し合っているのは普通だと思っていただけ、この話し合いを通して、選んだ自分たちも一緒に考えていくことが、もっと自分たちの生活の向上につながるのかなと感じました。楽しかったです。

目原：宗像市議会の話を聞いて、こういうこともやっているんだなと思ったのと、高校生の要望はなかなか難しいことも分かって、ここにいる人もみんなしっかりしててすごいなと。みんなが考えていることを知ることができたと、自分たちが聞きたかった成人式などの話も聞けたので、今日来てよかった

たと思いました。

岩岡：貴重なご意見をありがとうございました。これから自分たちももっともっと勉強していきたいと思っています。

笠井：今日はお忙しいところ、宗像市議会にきていただきありがとうございます。私たちも一市民として、もっとみなさんが生活しやすくなることを目標に議会で活動しています。私たちは広報編集部なんですけど、宗像市のタウンプレスと一緒に、定例会ごとに発行している議会だよりの編集に関わっています。議会だよりは、福岡市でも遠賀町でも発行されているので、こういったところからも情報を得て、皆さんも一緒に考えて頂けたら良いなと思いますので、ぜひ議会だよりの読んでみてください。

生活を変えていくには、まず選挙に行くことがそのきっかけになります。選挙権を得たら、しっかりと自分で見聞きして、選挙に行ってもらいたいと思います。宗像高校のみなさん、本場にありがとうございしました。

